

モートン病

☆ モートン病とは

趾神経が横中足靭帯周囲において絞扼されることによって生じた絞扼性神経障害のことをいいます。女性に多く、3番目と4番目の足のゆびの間によく発生します。

☆ モートン病の原因とは

多くはハイヒールや不適合な靴の使用により横中足靭帯部で趾神経が圧迫されて起こります。



<ハイヒール>



<不適合な靴>

☆ 症状は？

趾のつけ根の痛みや腫れ、歩行痛、放散痛、足のゆびの知覚障害などが挙げられます。症状はハイヒールや窮屈な靴をはくと憎悪しますが、ひどい場合には裸足歩行時や安静時にも痛みを訴えます。



腫れ

知覚障害



圧迫部位

☆ 治療法は？

まずは使用している靴をゆとりのある靴に改善する事から始めます。そして理学療法を行いながら、足底板療法を併用します。症状が強いものに対しては局所注射を行うこともあります。この治療により多くは治癒しますが、症状の軽快がみられないものに対しては手術を行うことがあります。

